

飛翔

令和8年
6月号



人材は、育てて資産になる。
～走り負けない組織のつくり方～

5月スポーツ研修・交流会特集

5月スポーツ研修・交流会（2026年5月6日・長良川スポーツプラザ）

講師：株式会社岐阜フットボールクラブ 取締役スポーツダイレクター 竹元 義幸 氏

演題：「人材投資を利益に変える経営～打つ手は無限～」

5月6日（水・祝）、会員交流委員会の主催により「5月スポーツ研修・交流会」が開催されました。第1部の研修会は長良川スポーツプラザにて、株式会社岐阜フットボールクラブ 取締役スポーツダイレクターの竹元義幸氏を講師にお迎えしました。

竹元氏は現役時代、アビスパ福岡、水戸ホーリーホック、サガン鳥栖などでプレー。引退後はサガン鳥栖のU-15・U-18監督、アカデミーダイレクター、強化育成本部長を歴任し、V・ファーレン長崎、FC今治を経て、2024年からFC岐阜のスポーツダイレクターを務めています。

講演では、チケットやスポンサー収入に頼る従来のクラブ経営から一歩進み、選手を「育てて価値を高める資産」と捉える経営モデルが紹介されました。有望な選手を発掘し、アカデミーで育て、トップチームで活躍させ、国内外のクラブへ送り出す。その移籍金をクラブに再投資する循環こそが、持続的な成長につながるということです。クラブが成長し続けるには毎年1割程度の事業拡大が必要との指摘もありました。

チーム強化の物差しとして紹介されたのが「インテンシティ」です。GPSで計測した走行距離のうち、高速走行が占める割合を数値化し、選手の評価や獲得の判断に活用しています。「上手いが走れない選手」より「走れる選手」を優先する方針を、データで明確にしているとのことでした。

あわせて、プロとしての規律や感謝をプレーで返す意識づけなど、組織改革の取り組みも語られました。人材への投資を成果に結びつける考え方は、本年度基本方針【～打つ手は無限～「考動力」で未来を創る】にも深く通じる学びとなりました。



講師の竹元義幸氏



「人材投資を利益に変える経営」をテーマに講演



育成から収益へのルートを解説



研修会には多くの会員が参加しました



質疑応答では活発な質問がされました



小森会長から竹元氏へ記念品の贈呈



司会の山岡さん



小森会長より講師への謝辞

第2部 交流会 プレミアム観戦ツアー（岐阜メモリアルセンター長良川競技場）

第2部は会場を岐阜メモリアルセンター長良川競技場に移し、ご家族も参加できる「プレミアム観戦ツアー」として開催しました。キックオフ前にはピッチ内見学ツアーが行われ、普段は立ち入れない場所から試合前のスタジアムの空気を味わいました。

試合は明治安田J2・J3百年構想リーグ、FC岐阜対松本山雅FC。関係者席のメインシートから声援を送りましたが、結果は0-3で惜しくも敗戦となりました。研修会で学んだクラブづくりの話を思い浮かべながらの観戦は、いつもとはひと味違う時間となりました。



ピッチ上で参加者全員による集合写真

会のあとに

広報委員長
河田 菊夫

「選手は商品ではなく資産である」。竹元氏の言葉は、そのまま私たち中小企業の人材育成に置き換えられると感じました。採用して終わりではなく、育て、活躍の場を与え、次のステップへ送り出す。その循環が組織を強くするという考え方は、まさに基本方針の「考動力」そのものです。また、「走れる選手」をデータで見極めるというお話からは、感覚ではなく数字で人を評価し、育てる大切さを学びました。研修のあとにスタジアムで同じピッチを見つめた時間も含め、学びと交流が一体となった一日でした。設営いただいた会員交流委員会の皆さま、ありがとうございました。

【青年経営者部会 今後の予定】

7月例会・懇親会 日時：令和8年7月17日(金)
場所：十八楼（岐阜市湊町） 集合：17時50分 受付：17時30分